

## 令和4年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原小学校 会長名 梅澤 伸英

---

令和4年度重点活動の具体的な取り組み内容

- 1 児童の安全確保と健康な心身の保持
  - (1) 生活安全標語の掲出
  - (2) 愛の一声運動（あいさつ運動）の実施
  - (3) ニュースポーツ「モルック」の開催
  - (4) 親子学習会（味噌づくり）、給食試食会の実施
- 2 よりよい学習環境の整備
  - (1) 親子奉仕作業、校内美化活動の実施
  - (2) 古紙、アルミ缶の回収
  - (3) ベルマークの回収、仕分け、集計作業

取り組みの効果

- ① 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- 1 児童の安全確保と健康な心身の保持
  - (1) 今年度も多くの児童生徒が、生活安全標語作りに取り組んだ。優秀賞に選ばれた5つの作品を看板にして、正門横に取り付けた。また、まちづくり協議会と連携して、交通安全標語が書かれたクリアファイルを作成した。看板やクリアファイル作成を通して、多くの児童が標語を目にすることになり、生活安全への意識が高まった。
  - (2) 毎月15日に、正門とまちづくりセンター側通用門にて、あいさつ運動を実施した。児童がPTAの方や教職員とあいさつを交わすことで、元気よく、笑顔で登校する姿が見られた。
  - (3) PTAの方と教職員の親睦を図るとともに、健康増進につながった。
  - (4) コロナ禍でしばらく行っていなかった親子味噌作りと給食試食会を実施した。多くの方が参加し、給食の試食や味噌作りを楽しんでいた。
- 2 よりよい学習環境の整備
  - (1) 奉仕作業と校内美化活動を実施した。2回とも200名を超える参加者が集まり、草取りやペンキ塗りを行い、学習環境がより良くなった。
  - (2) 古紙ボックスの回収が定着し、地域住民から多くの資源が寄せられている。収益は、学校の環境改善費用に充てることができた。
  - (3) ベルマークの回収では、年間6回の作業日を設け、多くの点数を集めることができた。集まった点数を、ラジカセ、グランドのブラシ、楽器のマレット、お花作り器などに変えた。児童の活動に必要な物をすぐに用意することができた。

—反省点—

特になし。会員の安全確保を第一に対応することができた。

—改善案—

特になし。来年度以降も創意ある活動を進めていきたい。

# 令和4年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立今泉小学校 会長名 西川 晃央

## 令和4年度重点活動の具体的な取り組み内容

・今年度は、奉仕作業、学校行事への協力を中心にP T A活動を行った。コロナ禍であったため、例年のP T A活動は実施できなかった。

### 【今泉小 P T A】

・ P T A企画委員会・理事会 ・ P T A総会(書面決議)

### 【成人教育部】

・年2回「会報 いずみ」発行(7月・3月) ・三校合同事業協力

### 【環境整備部】

・奉仕作業(5月)

### 【体育保健部】

・運動会 駐車警備

### 【生活指導部】

・登下校の見守り ・かけこみ110番プレート点検・協力依頼

・運動会協力(警備)

### 【家庭教育部】

・運動会受付 ・三校合同事業協力(受付) ・コサージュ発注

## 取組の効果

1. 有 2. 無(なぜ効果がでなかったのかを-反省点-に記入)

ー具体的な効果ー

- ・ P T A活動の見直しの一つとして、古紙回収を廃止し、校内に古紙ボックスを設置した。学校だよりやマチコミメールにて、地域や保護者に協力の依頼を行った。
- ・企画委員会にて、役員を選出について話し合うことができた。P T Aの世帯が少なくなってきた現状で、役員選出に無駄な時間を掛けていないか、また大役の企画委員の皆さんに負担がかかっていないのかなど、活動を見直す機会ができた。
- ・ P T A総会を毎年書面決議で行なえるように、会則の改正を行った。
- ・運動会での警備や受付にご協力いただくことで、教員が児童の見守りや競技の準備に専念することができた。

ー反省点ー

- ・生活指導部が中心に行っている旗振り当番の状況を役員が把握できていない。
- ・仕事をしている人や、乳幼児がいる保護者にとって、旗振り当番が負担になっていて、それが P T A から脱会する理由にもなっている。
- ・コロナ以前に行っていた活動を経験していないばかりで、活動を引き継げない。

ー改善案ー

- ・CS の事業と連携し、地域の方にも旗振り(登校の見守り)に協力してもらえるか検討していく。
- ・これを機に、P T A 活動の精選を行っていく。

## 令和4年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立伝法小学校

会長名 石川 慎也

### 令和4年度重点活動の具体的な取り組み内容

#### ◎ P T A活動目標テーマ

伝法の今をつむぎ 未来をつなぐ ～すべては子どもたちのために～

- ・上記テーマの下、各部ごとにテーマの達成に向けた目標を掲げ、子どもを中心にした P T A活動を計画した。昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響で活動が制限されてしまうこともあったが、実施時間や方法等を工夫してできる限りの活動を実施することで、家庭・学校・地域が三位一体となって活動することができた。
- ・ P T A総務会及び各部による、月に一度の清掃活動及び声掛け運動、子ども見守りパトロールの実施

#### 取り組みの効果

1.  有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

#### －具体的な効果－

- ・コロナ禍において、1年間 P T Aとして何ができるのか、何が必要なのかを学校や役員と様々な場面で協議し、今まで取り組んできた活動の意義や必要性を見つめ直すことができた。
- ・昨年度に引き続き、 P T Aの活動として予定されていなかったコロナ禍における新たな学校行事や活動に、部を超えて、 P T A役員で声を掛け合いみんなで協力することができたことで、互いに信頼関係も深まった。
- ・ P T A総務会及び各部による、月に一度の清掃活動及び声掛け運動、子ども見守りパトロールの実施により、地域や子ども達の防犯意識が高まった。

#### －反省点－

- ・特になし

#### －改善案－

- ・今年度、実施しなかったことや実施しなくても困らなかった活動等を洗い出し、来年度の活動につなげていく。
- ・今までの経験を活かし、「with コロナ」で計画を進めている。子どもたちだけではなく、保護者も学び、新しい生活様式に順応していきながら、新たな P T A活動の在り方を考えていきたい。そして、新たな P T A活動へのさらなる理解につながるよう、様々な取組についての広報・周知をしていきたい。

## 令和4年度 P T A活動最終報告

学校名 神戸小学校 会長名 平山 裕久

---

令和4年度重点活動の具体的な取り組み内容

コロナ禍において段階的に活動を再開した。

- ・リサイクル活動、古紙BOXの設置、奉仕作業
- ・通学時の旗振り、県下一斉補導・交通安全運動への参加
- ・地域の行事への協力（神戸地区文化祭への模擬店出店、カップスタッキング大会）  
など

取り組みの効果

1.  2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・学校の環境美化、通学時の安全確保
- ・地域の行事など子どもの体験機会の確保 など

—反省点—

- ・リサイクル活動の代替として古紙BOXを学校に設置したが、十分な量の古紙を回収することができなかった。
- ・奉仕作業では時間内ではグラウンドの除草作業などを終えることができなかった。

—改善案—

- ・新設したPTAのLINE公式アカウント等により、保護者にPTA活動について積極的に情報発信し、PTAに対する理解や活動への協力を促進していく。

# 令和4年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立元吉原小学校

会長名 鈴木 健之

## 令和4年度 重点活動の具体的な取り組み内容

子供たちにとって安心・安全な教育環境を学校と保護者が協力してつくっていくことを目標に、各部の活動を実施した。

- ・成人教育部 P T A便りを年2回発行した。子供たちと保護者が教職員のことを知って親近感がもてるよう、教職員紹介コーナーを充実させた。また、学校行事や授業の写真を多く掲載することで、各家庭に学校での様子を分かりやすく伝えるように努めた。
- ・家庭教育委員 学校給食についての理解を深めてもらうため、給食試食会を計画した。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)  
卒業式で6年生が胸に付けるコサージュを選び、納品後に検品した。
- ・生活指導部 子供たちが安心・安全に登下校できるよう、見回りパトロールと交通安全指導を実施した。また、通学路の危険個所に交通安全を呼び掛ける看板を設置した。  
1・4年生の交通安全教室と6年生の交通安全リーダーと語る会に参加し、活動を補助した。
- ・体育保健部 子供たちが安心・安全に「元小スポーツフェスティバル2022(運動会代替行事)」に臨めるよう、環境整備部と共に奉仕作業を行った。(草取り等)開催日当日は、運動場のパトロールを実施したり、保護者に手指の消毒やマスクの着用を呼び掛けたりした。
- ・環境整備部 リサイクル業者の協力を得て常設の古紙回収コンテナを設置し、古紙回収を行った。年2回は、古紙回収強化週間を設け、保護者や地域に協力を呼びかけた。  
子供たちが安全に校庭で運動ができるように、体育保健部と共に奉仕作業を行った。(ボランティアで多数の保護者が参加した。)

## 取り組みの効果

1. 有
2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

### －具体的な効果－

- ・ 環境整備部と体育保健部が共同で行った奉仕作業に多くの保護者が協力して下さった。ボランティアを広く募ることで、専門部員の負担も軽減された。
- ・ 見回りパトロールや交通安全指導の実施により、子供たちの交通安全に対する意識を高めることができた。

### －反省点－

- ・ 一部の専門部や役員の方に、P T A活動の計画や運営の負担が掛かってしまっている現状がある。

### －改善案－

- ・ 月一回開催している役員会で学校の現状を共有し、各部のよりよい活動に生かせるようにしていきたい。
- ・ 事務局と校内部長や各部の部長との連絡を密にし、効率よく活動を進める。

## 令和4年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立東小学校 会長名 畑瀬 徳彦

### 令和4年度重点活動の具体的な取り組み内容

今年度の取り組み内容としては、環境整備、スポーツフェスティバルの準備、公園清掃、給食試食会、どんど焼き、一斉下校などを行った。

やむをえず中止になった活動もあったが、3年ぶりに行う活動（給食試食会、どんど焼き等）もあり、コロナからの脱却に向けた活動を行うことができた。来年度にむけて、開催方法などを示す活動が出来たと思う。

また、PTA数の減少からPTAに対する負担を軽減させる必要があるため来年度からの役員数を減少させ、一部活動内容の変更を提案した。

### 取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

#### —具体的な効果—

コロナ対策はもちろんでしたが、今後児童数、PTAの減少が見込まれるため、出来るだけ少ない人数で取り組みが出来るような工夫をした活動や、マチコミを活用し地域の方々にも来てもらえるようにしながら活動を行うことができた。

やむを得ず中止となった活動がいくつかあったが、予定していたPTA単独での活動はほぼ行うことができ無事に終わることができました。

また、給食費の公会計化に伴いPTA加入の申込書を提出してもらうように臨時総会で説明、お願いをしたことによって来年度のPTA脱退の意思を示す人が現時点ではいないため、長年のPTA活動の効果があらわれていると感じた。非常にありがたいことだと感じている。

#### —反省点—

子どもたちが楽しみにしている、地域の活動にもう少し積極的に参加したかったのですが、地域行事中止の決定が早かったため、もう少し早い段階で話し合いができればよかったと思った。

#### —改善案—

児童数、PTA数の減少が考えられることからPTA役員の負担を減らすようにもう少し具体的な話し合いが継続的にもたれるようにしてもらいたい。また、地域の方々と協力し合い東小学校を盛り上げていってもらえれば考える。

## 令和4年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立須津小学校

会長名 谷口 和也

### 令和4年度重点活動の具体的な取り組み内容

コロナ禍で、必要最小限の活動と取組にせざるを得なかったが、一定の効果は得られた。地域では、秋に地区の祭りが3年ぶりに開催され、古墳スタンプラリーをはじめとする様々な催しが、まちづくり協議会を中心として実施・再開された。

本年度のPTA活動は、活動内容や方法を工夫することによって、年度当初に計画されていた事業のほとんどを実施できた。子どもたちのために、子どもたちに遺る取組をしようという根本に立ち返り、規模が小さくとも会場や場所が変わろうとも、PTA活動の灯を絶やさぬよう、本部役員を中心に活動を続けてきた。

安全の日の下校引率、校区内巡視は従来と方法を変えながらも、中止や延期をすることなく実施できた。また、校内奉仕作業には100名近くのPTA会員が集まり、ポッチャ講習や古紙回収も規模は縮小されたが、中止せず行うことができた。

また、本校は今年度、創立150周年の節目を迎え、様々な取組を計画してきた。PTAも創立150周年記念式典準備委員会とともに記念リーフレット作成や記念航空写真の撮影に携わった。

来年度は、創立151年目となる。初心に帰るとともに、「須津小の歴史をみんなでつなげていこう」と銘打った児童会の合言葉を旗印に、より充実したPTA活動がなされるよう、「やってよかった。」と皆が感じられるよう、取組を工夫し実践していきたい。

古紙回収の方法をスリム化したり、実施できなかった専門部会も再開したりすることが計画されている。

最後に、PTAのつといででの発表校として、本校の活動を紹介するにあたり、PTA会員、PTA本部役員の皆様の力・Manpowerを改めて感じた。

### 取り組みの効果

1. 有
  2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
- 具体的な効果 —

今年度が創立150周年記念の年であることを祝うにあたり、子どもたちと学校職員に加え、家庭・PTAの協力をいただけたことで、三位一体、創立記念の年を大切な時間にしようという同じ目標に向けてすすんでいくことができた。(協働)

どんなに規模が小さくとも、活動を実施し来年度以降に引き継ぐことができた。(伝承)

まちづくり協議会とPTAのつながりをより深め、保護者の学校教育活動への参加や協力を深めてくださることを期待している。

## 令和4年度 P T A活動最終報告

学校名 吉永第一小学校

会長名 高橋 泰之

---

### 令和4年度重点活動の具体的な取り組み内容

5つの専門部がそれぞれ目当てを決めて活動計画を立てていたが、コロナウイルス対策により多くの活動が実施できなかった。

実施できたものとしては、生活指導部の登校時の交通指導、成人教育部のP T A新聞の発行、家庭教育部の読み聞かせがある。

### 取り組みの効果

1. (有) 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

#### －具体的な効果－

- 生活指導部の交通指導の効果としては、登校時の児童の安全確保ができ、今年度、登校時の交通事故は0だった。
- P T A新聞の効果としては、今年度も保護者が学校に来る機会が少なかったため、子供たちの様子を伝えることができた。
- 読み聞かせの効果としては、子供たちが本に親しむ機会を作ることができた。

#### －反省点－

- コロナウイルス対策で今年度も児童の登校時刻が遅くなり、交通指導を行うことが難しくなってしまうという課題がでた。

#### －改善案－

- P T Aの過度な負担にならないように、できるときに実施することを伝えていくようにした。



## 令和4年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉永第二小学校

会長名 石川 リサ

### 令和4年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ①年1回の朝のあいさつ運動（学校正門にて）
- ②P T Aリサイクル活動（年1回の古紙回収）
- ③P T A親子クリーン作戦（年1回の親子奉仕作業）
- ④スポーツフェスティバルへの協力
- ⑤P T A読み語りを実施（年1回）
- ⑥P T Aいちょう新聞の発行（年1回）

### 取り組みの効果

1. ①
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

#### —具体的な効果—

- ①登校の様子を見守ることで、あいさつの声とともに1日が始まる生活リズムを構築することができた。
- ②1回の活動で得られた収益金を、児童の健康アプリの活用に生かすことができた。
- ③児童では手が届かない清掃（室内高所など）を行うことができた。地域のふれあいボランティアの皆さんにも参加していただくことで、樹木の選定や畑の整地などを行うことができた。
- ④教職員の人数が少ないため、スポフェス看板設置など手が足りない部分を補うことができた。
- ⑤朝の活動時間に読み聞かせをすることで、児童が楽しい気持ちで朝のスタートを切ることができた。

#### —反省点—

- ・児童減少に伴う、活動内容のスリム化と役員負担軽減

#### —改善案—

- ・学年単位での役員選出に伴い、現状に合わない活動の見直しを行った。  
朝の各地区での交通指導⇒子ども会へ  
古紙回収⇒昨年度より、コンテナ設置へ変更  
学年委員、地区担当の撤廃  
コロナ感染症対策による常任委員会リモート開催（好評であった）

## 令和4年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立原田小学校

会長名 渡辺 正人

令和4年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ①古紙ステーションを活用しての古紙回収
- ②校内美化活動
  - ・校舎回りの草刈り活動
  - ・校舎内の清掃活動
- ③卒業生用のコサージュ作り

取り組みの効果

1. ①
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ①学校からのお知らせや回覧板にて、場所の周知を行い、地域の方にも協力を仰いだ。回収量も多かった。
- ②有志での個人単位の活動の呼び掛けを行った。特に日時・場所を指定せずに、できる人ができる時というように、気になった場所の清掃をお願いした。用具等は、学校で用意した。協力いただいた方に、記名をお願いした。熱心に取り組んでいただき、校庭がきれいになった。
- ③家庭教育委員会の部員が、部品から選んで一つ一つ手作りでコサージュを作った。

—反省点—

- ①特になし。
- ②暑い時期の取り組みとなってしまう、あまり参加者が多くならなかった。
- ③部員や部長の家庭をお借りしての活動になってしまった。

—改善案—

- ①来年度も地域の方の土地をお借りすることができるかはまだ未定であるが、回収ボックスを設置するなど、役員や部員の負担にならない方法を考えていきたい。
- ②来年度は、一斉に行いたい。
- ③手作りは負担が大きいため、来年度からは、既製品を購入することになった。

# 令和4年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立大淵第一小学校 会長名 田邊 真太郎

## 令和4年度重点活動の具体的な取り組み内容

### ①【生活指導部】

- ・登下校時の安全確認活動… P T A会員全員が年2～3回程度、当番制で登校の見守りを実施。
- ・地域の安全見守り…見守り110番の家の新規依頼、確認。

### ②【環境整備部】

- ・古紙回収(年3回、古紙ステーションを利用)、奉仕作業。(年1回)

### ③【家庭教育委員会】

- ・お茶を楽しむ会…5年生を対象に大淵地区の特産の一つであるお茶に親しむ会を実施。JA茶業部会の方にも協力していただいた。
- ・親子みそ作り教室…3年越しにやっと実現できた事業。みそ屋の方を講師としてお招きし、大豆、麴からみそ作りを親子で楽しみながら行った。

### ④【運営委員会】

- ・ピザ・キャンドルづくり…夏休みに父親委員会が「体験楽校」で実施予定だった内容を校内で実施。
- ・卒業イベント…小中合同で、卒業生に向けてスカイランタン、花火の打ち上げを実施。

## 取り組みの効果

1.  有      2.  無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

### —具体的な効果—

### ①【生活指導部】

- ・P T A会員全員が年3回程度、当番制で登校の見守りを行うことで、みんなで子どもの安全を守る意識ができた。

### ②【環境整備部】

- ・古紙回収ステーションを利用し、実施した。古紙ステーションでの実施も定着してきた。会員の家庭だけでなく、地域にも案内を回覧し、地域の協力を得て、多くの古紙を回収することができた。

### ③【家庭教育委員会】

- ・親子みそ作り教室が、コロナ禍3年目にてようやく実施できた。参加者の制限、場所の工夫など、感染対策を十分に行いながら、実施できた。親子で楽しめる事業であった。

### ④【運営委員会】

- ・家庭科室でピザづくり、理科室でキャンドル作りに分かれ、参加者を高学年、各教室15人程度に限定して実施した。子どもたちが楽しそうに取り組んでいた。
- ・卒業イベントは、卒業生の心に残るイベントとなり、大変喜んでいた。大淵二小の編入統合もあり、大淵二小の子は全員が参加できることにし、思い出の一つとなった。

### —反省点—

▽体育保健部の事業「普通救命救急講習会」「ふれあいスポーツ大会」が昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響で中止となった。事業や取り組み方の見直しをする。

### —改善案—

◇コロナ禍においても、取り組み方を工夫し、実施できた事業もあったので今後も事業の見直しを行っていく必要がある。(場所、人数、活動など)そして、多くの会員が気軽に参加できる方法を考えていきたい。コロナ対策を十分に行い、そのアナウンスをしっかりと行うことで安心して参加していただきたい。

## 令和4年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立大淵第二小学校 会長名 山田 光俊

### 令和4年度重点活動の具体的な取り組み内容

令和4年度末の閉校に向けて、「最高の一年に」をテーマに、児童、P T Aの思い出に残る企画を実施した。7月、富士本地区夏祭り（フェスタ富士本）では、非常食体験を兼ねたカレー作り、トーチの炎を前にした富士本太鼓の演奏。11月、ミニコンサートと太鼓演奏会。1月、太鼓練習後、夜の学校を歩くナイトハイク。地元の陶芸工房でのお皿への思い出の絵付け体験。2月、ロゼシアターで行われたP T Aの集いでの富士本太鼓演奏。3月、大淵中学校、大淵第一小学校との3校合同イベント。第二小でのマルシェと校舎見学会、富士本太鼓演奏会。夜のスカイランタンと花火打ち上げ。

### 取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

#### －具体的な効果－

地域や大淵中学校、大淵第一小学校とも連携した、思い出に残る充実した1年間を送ることができた。大淵中学校、第一小学校の児童、生徒との交流を通して、次年度の統廃合に向けての基盤づくりの一助となった。地域との交流を深め、富士本地区としての結束を強める機会となった。

#### －反省点－

統廃合へ向けた短期間の準備のため、P T A、先生方に対して多くの負担をかけてしまった。特に先生方には、休日や平日の夜間等、勤務時間外にもご協力いただく機会も多く、大変ありがたかった。

#### －改善案－

統廃合に向けての準備と、児童に対する思い出作りを1年間で同時進行で行うこととなった。統廃合のスケジュールとしてはあまりに短期間のため、P T A、当該校に対する負担が大きかった。他地域における統廃合を進める際には、十分な準備期間が必要である。

# 令和4年度 P T A活動最終報告

学校名 富士第一小学校

会長名 浦田 裕樹

---

## 令和4年度重点活動の具体的な取り組み内容

### ①市に対する通学路危険箇所の改善要望

会員から指摘のあった通学路の危険箇所を改善するよう、富士市等に要請した。

### ②会員の負担軽減を目的とした組織改革

保護者、教員の負担軽減を目的とし、本部役員の減員、役員立候補制の導入、専門部及び校内部長を廃止した

### ③PTA活動としてプール清掃・樹木剪定・草刈りを行った。

### ④コロナ禍でも持続可能なPTA活動にするため、各種会議のオンライン化を更に進めた。

### ⑤学区内主要横断歩道における、登校時の旗振り当番を年間通して行った。

### ⑥今後の旗振り活動について検討した。

## 取り組みの効果

1.  有 2.  無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ①工事が完了したのが年度末であり、具体的な効果はこれから確認していくことになるが、工事自体はPTAの要望がほぼ受け入れられた形になっており、安全の確保に寄与した。
- ②実際に立候補制による役員選出は来年度からになるため、どれだけの効果が出るかは未知数だが、会員からは概ね賛同が得られた。
- ③多くの大人の手でプール清掃をすることで、効率よく行え、子どもたちが余裕をもって仕上げの掃除をすることができた。来年度も行う予定であるが、来年度は子どもの達成感のため、PTAが仕上げを行う。
- ④会議をオンラインにしたことで、密を回避しつつ、より参加しやすくなった。
- ⑤登校時の旗振り当番は、年間を通して全世帯にお願いして実施することで、子どもたちの交通安全意識を高められたとともに、PTA会員にも「地域の子供は地域で見守る」という意識を高めることができた。
- ⑥来年度は、子ども自らが安全意識を高めることとPTA会員の負担軽減の意味から、旗振りの方法を一考する。（例）通年ではなく休み明けのみ等

－反省点－

- ①文書の作成段階で、市教育委員会との連絡がうまくいかず、会員の指摘を受けてから市に書類を提出するまで相当の時間を要した。
- ④オンライン会議は効果的な面もある一方、意見を言いにくかったり、接続が上手くいかず、参加できない方がいたりすることがあった。
- ⑥地区理事に「旗振りの方法を変更する」というアナウンスをしたが、「旗振りを完全に無くす」ととらえた方が多く、混乱させてしまった。

－改善案－

- ① 今回の市に対する要望で PTA 側にも知見が得られたところ、来年度以降は、本年度の要望で得られた知見を活かし、効率的に要望を行う。
- ④ オンライン会議は、初めて参加する方は必ずテスト接続をしてもらうこと。また、意見を言いやすくするため、小グループ（Zoom では「ブレイクアウトルーム」）で話し合えるような場面も設定したい。
- ⑥ 既存の活動を変更する際には、変更に至った経緯や今後の具体的な見通しを会員に伝えていく必要がある。

## 令和4年度 P T A活動最終報告

学校名 富士第二小学校 会長名 渡邊 弘和

令和4年度重点活動の具体的な取り組み内容

PTA 各部員の選出方法を見直す  
環境整備部員を地区選出から学年選出に変更

取り組みの効果

1. (有) 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)
- 具体的な効果—

小さな地区は、繰り返し役を引き受けなければならず負担感があったが、学年選出にしたことで、立候補者が募りやすくなり、結果的に部員を必要な人数をそろえることができた。

—反省点—

—改善案—

まだまだ組織改革は道半ばですので、他の部についても選出方法の変更を考えていきたい。ただ、これまで営まれてきた各地域の諸団体の役員選出との絡みがあり、簡単ではないことが分かってきた。諸団体に理解を求めつつ、改革をしていくことが確認されている。

# 令和4年度 P T A活動最終報告

学校名 田子浦小学校

会長名 露木 ひと美

## 令和4年度重点活動の具体的な取り組み内容

1. 役員会・・・役員選出方法の検討・実行（準備委員会開催）、活動内容全般の見直し  
規約改正、役員会議事録のHP掲載、会員アンケート、図書購入
2. 成人教育・・・P T A新聞発行（2回）
3. 生活指導・・・通学路点検、110番プレート
4. 環境整備・・・古紙回収ボックス常設、奉仕作業（1回）
5. 体育保健・・・特になし
6. 家庭教育・・・卒業生コサージュづくり

## 取り組みの効果

1. ①
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

## —具体的な効果—

### 役員選出

地区ブロック選出⇒クラス選出へ、4年役⇒2年役へ、役員立候補制導入、地区理事廃止（必要な地区は置いてよい）、部員廃止（ボランティア制導入）

昨年度から検討してきたことを実行できた。

### 活動内容見直し・会員アンケート

会員アンケートの結果、来年度よりP T A新聞の廃止（HPでの活動内容報告等に変更）、卒業生コサージュは現在の講師の先生に作成を依頼⇒担当役員の負担軽減、経費削減。

### 議事録のHP掲載

地区理事廃止に伴い役員会内容の共有が困難に。HP掲載で情報共有を実現できた。

### 図書の購入

古紙回収収益の一部で図書の購入（司書の先生のご協力で子どもたちの意見も反映できた）。

### 通学路点検

部長・校内部長が検討し、部員から意見を募る形から、子どもたち・保護者対象にアンケート形式へ⇒部員のいなかった地区や、子どもと保護者の視点から、あらたな危険箇所が浮かび上がった。

### 奉仕作業

ボランティアを募集し、当日は多くの方が参加して下さった。

## —反省点—

今年度は、検討事項が多く、会議の時間が長時間に及んだ。

## —改善案—

役員選出に関する反省点があった。役員間で共有済みなので、来年度以降に活かしてほしいと思う。1年間ご協力いただいた役員・教職員の皆さまに感謝しております。



## 令和4年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立岩松小学校 会長名 日下部 和也

令和4年度重点活動の具体的な取り組み内容

### 【組織の変革】

コロナ禍により、P T A活動が大幅に制限され、これまでの活動ができなくなった中で、P T A活動はもちろん、組織の在り方について検討していくことが主な取組となった。学校給食費の公会計化に伴い未加入者が出てきたことも、検討の要因になった。

- ・組織の変革による、役員数の縮小
- ・P T A活動の内容（各部の活動も含む）の検討
- ・P T A活動のボランティア化

取り組みの効果

1. 有      2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

#### ①各町内の負担減

本校では、各地区にP T A役員の擁立を依頼していたが、役員数の縮小により、各地区の負担が大幅に減った。

#### ②P T A活動内容の再検討・精選

コロナ禍によるP T A活動の制限や役員数の縮小により、これまで活動してきたものを見直し、精選することで、活動内容の充実を図ることができた。これについては、次年度の役員で更に検討を進めていく。

—反省点—

- ・次年度の計画がしっかりと立てられないまま今年度が終わってしまったので、はっきりとした計画の下での活動が始められない心配がある。

—改善案—

- ・今年度、進めきれなかったことが多かったので、次年度、話し合いの中で進めていってもらうこと。

## 令和4年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立鷹岡小学校 会長名 山下 千絵

### 令和4年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ P T A総会の運営（紙面開催4月）
- ・ 親子で確認!かけこみ 110 番のいえ（5 / 11）
- ・ 通学路点検（通年）
- ・ インディアカ、ファミリーバドミントン（通年）
- ・ 資源回収（通年）
- ・ 奉仕作業（7 / 7）
- ・ P T A新聞の発行（3回）
- ・ コサージュ作り
- ・ 子ども会・ボランティア団体合同事業「鷹っ子お化け屋敷」（11月5日）

### 取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

#### －具体的な効果－

- ・ 親子で確認!かけこみ 110 番のいえは、学校の引き取り訓練と連携し、親子で通学路を歩きながら、「かけこみ 110 番のいえ」の場所を確認した。保護者も通学路の危険箇所を確認でき、子供の防犯意識を高めることができた。また、地震発生時に家庭に戻るか学校に行くかを判断する場所の確認もした。発災時についての意識も高めることができた。
- ・ 奉仕作業は、これまでコロナ禍で中止・縮小してきたが、本年度は保護者に協力を呼び掛け実施する事ができた。側溝の掃除やトイレの洗浄など普段行き届かない場所を掃除することができ、子供が毎日気持ちよく生活できる環境整備ができた。また、保護者と教職員と一緒に活動することで、交流が深まった。
- ・ 子ども会、ボランティア団体との合同事業では、コロナ禍で中止してきた「鷹っ子お化け屋敷」を実施する事ができた。多くの子供が参加し、楽しめた活動となった。

#### －反省点－

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、延期や縮小することがあったため、時期や活動内容により各部の取組に差が出てしまった。

#### －改善案－

- ・ 行事については、コロナ以前に戻すという意識から、急な変更が起きないように新しい取り組み方を考えていく。その上で、行事の精選や統合などを行い、各部が均等に活動できるように見直しを進めていく。

## 令和4年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立広見小学校 会長名 佐藤 祐樹

---

### 令和4年度重点活動の具体的な取組内容

成人教育部・・・PTA新聞の発行

環境整備部・・・古紙回収ボックスの設置、PTA・CS合同奉仕作業

生活指導部・・・1年生の交通教室の協力、かけこみ110番の家の確認  
通学路の交通規制を周知するチラシを地区全戸配付

体育保健部・・・運動会への協力、プール清掃の下準備

その他

- ・理事会や奉仕作業の募集等にオンラインを導入。時間や場所に縛られることなく、参加可能にしたり、紙面での集計をなくし負担軽減を図ったりする。

### 取組の効果

1. (有) 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)
- 具体的な効果—

成人教育部

- ・PTA新聞の発行により、日々の教育活動や教職員の紹介、PTA活動を知ってもらえる機会となった。

環境整備部

- ・古紙回収ボックスの設置により、地域からも古紙の回収をすることができた。回収した古紙の利益で、74冊の本を購入し、学校図書館に寄贈することができた。
- ・2回目の奉仕作業を親子参加にすることによって、学校内の草刈りや整備だけでなく、親子で楽しみながら活動することができた。

生活指導部

- ・通学路の交通規制について注意喚起を呼び掛けるチラシを配付したことで、登校時間の児童の安全を守ることができた。

体育保健部

- ・密を避けながら、子供たちの活動を支えることができた。また、周辺店舗等への迷惑駐車を避けることができた。

その他

- ・オンラインで理事会に参加できるので、時間や場所に縛られることなく参加することができるようになった。
- ・PTA役員の地区選出や部員制度を廃止したことで、PTA活動への負担感を減らすことができた。

—反省点—

- ・オンラインでの募集より紙面での募集のほうが、参加率は良かった。
- ・理事会にオンラインを導入したが、役員同士のつながりが希薄になりやすかった。

—改善案—

- ・PTA活動のお知らせや募集等は、紙面とオンラインの両方を用い、広く周知していく。
- ・理事会は、対面、オンラインの両方で行い、役員同士のつながり、連絡を密にしていく。

## 令和4年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立丘小学校 会長名 後藤彰広

---

### 令和4年度重点活動の具体的な取り組み内容

#### アフターコロナのPTA活動

- ・昨年度よりもコロナの状況が落ち着きつつあったため、無理なくできることから活動再開を目指した。
- ・コロナ前に行ってきたことをそのまま実施するのではなく、地域や家庭の状況なども考慮しながら、内容や方法の見直しを行った。各部の話合いや参加募集、アンケートなども、オンラインやメールアプリなどを活用することで負担削減を図った。

#### 取り組みの効果

1. 有
  2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
- 具体的な効果—

#### 【執行部】

- ・PTA 総会の書面開催（4月）
- ・メールを使った連絡・報告。

#### 【成人教育部】

- ・11/18(土)親子アカデミー（飛行機の仕組みの理解と紙飛行機とばし）実施。  
46名参加。
- ・PTA新聞第3号～第5号の発行（学校ホームページにアップ）。

#### 【体育保健部】

- ・11/27(日)親子グラウンドゴルフ体験実施。65名参加。

#### 【環境整備部】

- ・6月と11月にアルミ缶回収を実施。
- ・10/15(土)奉仕作業の実施。48名参加。
- ・アルミ缶回収ボックスの設置

#### 【生活指導部】

- ・旗振り当番の割り振り
- ・かけこみ110番の家の募集と継続確認。（5～9月）
- ・次年度の役員数の決定
- ・通学路注意喚起看板の設置（11～12月）

#### 【家庭教育部】

- ・卒業生へのコサージュ選定。
- ・卒業生の保護者へのメッセージカード作りの依頼。（1～2月）
- ・2/7(火)コサージュにメッセージカードを梱包。

－反省点－

- ・家庭教育部で給食試食会を計画していたが、今年度も断念せざるを得なかった。飲食に関してはまだコロナの影響が大きいと感じた。
- ・活動募集をオンライン上で実施したが、予想よりも少ない人数となった。保護者には情報が伝わったが、児童への周知が不十分だったためと思われる。

－改善案－

- ・次年度も引き続き、役員の負担軽減を図りつつ、活動を増やしていきたい。
- ・他校の取り組みを聞き、本校もアルミ缶回収ボックスを設置した。児童・保護者・地域の方にも周知を図っていききたい。集まったお金を、子供たちに還元していきたい。
- ・給食試食会は保護者にも人気のある行事と聞いている。実施を目指していきたい。
- ・活動募集に関しては、児童向けの簡単なポスターを作るなどして、保護者だけでなく児童にも周知を図っていききたい。

## 令和4年度 P T A活動最終報告

学校名 富士見台小学校 会長名 竹本建一

---

### 令和4年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ P T Aイベント 「スイング・マミー」(吹奏楽演奏)  
低学年、高学年の二部制で実施(各20分)

### 取り組みの効果

1. (有)
2. 無(なぜ効果がでなかったのかを-反省点-に記入)

#### —具体的な効果—

- ・ 昨年度は成人教育部が主催し、家庭教育部との共催で行った。好評だったため、今年度も実施する運びとなったが、主催を家庭教育部に移し、各部同士の連携をとり協力しながら行うことができた。

#### —反省点—

#### —改善案—

- ・ 今年度もコロナ対策として保護者の参加を見送った。事業が恒例化しており、来年度も実施の方向であるため、来年度は保護者にも聴いてもらえるようにしていきたい。

# 令和4年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士南小学校 会長名 秋田 考治

## 令和4年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・成人教育部 ききょう新聞発行（年2回）
- ・生活指導部 交通安全街頭指導 1年・4年交通教室への協力
- ・環境整備部 奉仕作業主催 古紙回収
- ・体育保健部 運動会協力
- ・家庭教育部 給食新聞発行 運動会ご褒美配布
- ・ふれあいクラブ 親子ふれあい教室の開催 奉仕作業協力

## 取り組みの効果

1. **有** 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

### －具体的な効果－

- ・成人教育部 2回の P T A 新聞を発行することができた。学校と協力して、会員の皆様が楽しめる新聞を作成することができた。
- ・生活指導部 コロナ禍の中でも、各地域での連絡方法等を工夫して交通安全街頭指導、パトロールを実施できた。
- ・環境整備部 奉仕作業は、短時間で運動場、校庭、校舎内等をきれいにすることができた。地域や P T A 部員が協力して古紙回収を実施した。
- ・体育保健部 運動会では、駐輪場の設置、見回り、パトロール等、運動会運営の協力をスムーズに行うことができた。
- ・家庭教育部 コロナ禍の中、給食試食会が実施できなかった代わりに、「給食新聞」を発行し、給食の内容を発信することができた。
- ・ふれあいクラブ 今年度より新たに親子で楽しめる体験型の企画である「親子ふれあい教室」開催した。また、各専門部の補助を行った。

### －反省点－

- ・放課後のパトロールでは、個人情報の当番名簿の受け渡しや午後の下校時間における保護者の参加に課題があった。
- ・古紙回収は、現在の回収方法だと製紙会社の採算が取れないため、他の方法を考える必要がある。
- ・親子ふれあい教室は、初めての開催ということもあり、対象を5・6年としたところ、参加者が少なかった。

### －改善案－

- ・放課後パトロールは、予め全ての P T A 会員にパトロール用のベストを配布しておき、各自できる時に行ってもらうように改善する。
- ・古紙回収は、これまでのように同日に一斉に行うのではなく、毎月1～2回、環境整備部員が回収ボックス前に立ち、保護者に持ってきてもらう形に変更する。
- ・親子ふれあい教室の募集は、来年度は最初から3年生以上から募集するようにする。

# 令和4年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立天間小学校 会長名 塩澤 義明

---

## 令和4年度重点活動の具体的な取り組み内容

- 1 コロナ禍でのP T A活動を考える
- 2 P T A会則の見直しと改正
  - ・来年度から実施される公会計化に伴い、P T A会則を見直した。理事会を開催し、承認を得た。
- 3 P T A会員への加入手順の整備
  - ・在校生は、P T A会員加入に際し、紙面による説明と加入確認書の提出の手順を取った。
  - ・新1年生就学時健康診断でのP T A団体、P T A活動についての説明をした。また、2月の入学説明会で、新1年生の家庭にP T A加入確認書提出をお願いした。
- 4 各専門部の活動
  - 【各専門部で輪番】
    - ・毎月15日を基準に、学区内3か所にて朝の登校指導を行う。  
(各専門部で輪番制で担当)
  - 【成人教育部】
    - ・P T A新聞作成に向けた取材活動は少ない人数で実施した。
    - ・P T A新聞年2回発行。(例年通りの紙面内容)
    - ・12月の収穫祭に合わせて、「しゃしんやさん」を実施し、子供たちに行事の写真を提供した。
  - 【生活指導部】
    - ・かけ込み110番の家への挨拶は郵送にて行った。
    - ・長期休み明け登校指導に、全家庭年1回、協力していただいた。
    - ・各家庭に安全ベストを配付し、登校指導、P T A活動時への着用をお願いした。
    - ・通学路注意喚起看板を設置した。
  - 【環境整備部】
    - ・地域の協力を得て、コロナ禍でも米作り活動を実施することができた。その米づくりの各作業に協力した。
    - ・12月に収穫祭で餅つき体験の手伝いをおこなった。
    - ・古紙、アルミ缶を学校にて常時回収した。
  - 【体育保健部】
    - ・月2回程度インディアカ教室実施。(5月～12月)  
※実施に際しては、コロナウイルス感染拡大状況や施設利用条件に基づき、中止した期間もある。
    - ・体育的行事では、用具の準備・片付け、消毒作業の支援を行った。
  - 【家庭教育委員】
    - ・例年6年生保護者に作成していただいていた卒業生へのコサージュは、人が集まることを避けるため、完成品の購入に変更した。
    - ・給食試食会を人数制限をして2回実施した。それに伴い、配膳のお手伝いをした。

## 取り組みの効果

1. **有**      2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

### —具体的な効果—

- 1 コロナ禍でのP T A活動を考える
  - ・コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を規模縮小又は中止とした。



感染拡大状況を踏まえ、無理をせず可能な範囲で活動を実施した。

## 2 P T A会則改正後の会員加入

- ・在校生には、会員加入に際し、紙面による説明と加入確認書の提出をお願いした。また、新1年生就学時健康診断での P T A 団体、P T A 活動についての説明をし、2月の入学説明会で、新1年生の家庭に P T A 確認書提出をお願いした。全家庭のうち99%の家庭が提出してくれた。

## 3 各専門部の活動

### 【成人教育部】

- ・ P T A 活動、学校行事が昨年度よりは実施できたものが多く、取材活動もほぼ例年通りに行うことができた。
- ・ 12月の収穫祭に合わせて、「しゃしんやさん」を実施し、子供たちに行事の写真を提供した。
- ・ 3月には、紙面内容を例年通りに戻し、1年間の活動を伝える新聞を発行することができた。

### 【生活指導部】

- ・ 長期休み明け登校指導は2年目を迎え、担当の割り振り、お知らせ配付等の流れが確立してきた。保護者の協力も得られている。
- ・ 各家庭に配付している安全ベストの着用率も高くなってきている。

### 【環境整備部】

- ・ コロナウイルス感染拡大防止策を講じながら、米作り活動を支援することができた。学校、地域、P T Aとの連携・協力体制が確立してきている。
- ・ 12月に収穫祭で餅つき体験の手伝いをおこなった。
- ・ 古紙、アルミ缶回収のお知らせを地域にも発信したことで、保護者だけでなく地域の方からも回収に協力していただいた。回収結果については、P T A新聞に掲載した。

### 【体育保健部】

- ・ コロナウイルス感染拡大状況を踏まえながら、インディアカ教室を行った。保護者の交流、健康増進の場となった。

## ー反省点ー

### 1 コロナ禍での P T A 活動を考える

- ・ コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの活動を中止または規模縮小とした。昨年度同様、実施についての判断の難しさを感じた。

### 3 各専門部の活動

#### 【環境整備部】

- ・ 奉仕作業の実施ができず、実施時期や方法等、工夫する必要を感じた。

#### 【生活指導部】

- ・ 長期休み明け登校指導は、担当日及び場所のお知らせを7月に一斉配付している。そのため、実施日までに間があいてしまうため、休み明け前日にまちコミメール等でお知らせをしたい。

## ー改善案ー

### 1 コロナ禍での P T A 活動を考える

- ・ 令和5年度は、状況に応じながら実施できる活動は実施できるようにしていきたいと思う。

### 2 各専門部の活動

- ・ 「誰でもできる活動」にするため、各部の活動内容をさらに見直し、活動の精選を図りたい。
- ・ 各専門部の活動について、活動内容の変更、実施方法の工夫等を図っていく。
- ・ 古紙、アルミ缶の回収への協力を家庭だけでなく地域へも継続してお願いする。

## 令和4年度 P T A活動最終報告

学校名 岩松北小学校 会長名 菅原 智志

令和4年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ① 奉仕作業#1：プール清掃
- ② 奉仕作業#2：トイレ清掃
- ③ 夏期パトロール

取り組みの効果

- 1. 有○
  - 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
- －具体的な効果－

- ① 奉仕作業#1：プール清掃

→プール開き前に一斉清掃をすることで、計画通りのプール開きができた。  
→子供たちが、気持ちよく、水泳授業を受講することができた。

- ② 奉仕作業#2：トイレ清掃

→年に一度の酢酸を用いた本格的なトイレ清掃により、1年を通してにのいの軽減したトイレを維持できた。

- ③ 夏期パトロール

→P T A看板の劣化状況を把握して、修理対応ができた。

－反省点－

- ① 子供たちがどこまで一緒にやるかは、決める必要有り。
- ② 動員が少ない場合の対応を決める必要有り。
- ③ とくに無し

－改善案－

- ① 学校の意向を確認
- ② 日付を分けて分割で対応するなど

## 令和4年度 P T A活動最終報告

学校名 富士中央小学校 会長名 鈴木 博之

---

### 令和4年度重点活動の具体的な取り組み内容

コロナ禍における本校P T A活動の制限下（3年目）において、「子どもたちのため」を基本としつつ、P T A会員の負担感の軽減と持続可能な活動に向けて活動内容を精査するとともに、次年度に向けた準備を進めた。

- ・各部の事業の見直し
- ・活動への任意参加方式の実施（奉仕作業など）
- ・オンラインによるP T A役員の打ち合わせの実施 など

### 取り組みの効果

1. ①
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・コロナ以前と比べて活動や役員会議の回数・時間が縮小した。

－反省点－

- ・部によっては、事業の大きな見直し・改善が図れなかった。

－改善案－

- ・令和5年度を各部事業の本格移行の年と位置付け、会員や地域等にコンセンサスを得ながら、事業の見直し・改善を進め、P T A会員の負担感の軽減に努める。

## 令和4年度 PTA活動最終報告

学校名 富士市立青葉台小学校 会長名 山田聖治

### 令和4年度重点活動の具体的な取り組み内容

#### PTA会費の見直しについて

- ・PTA会費の公会計化に向け、PTA会費の見直しをし、毎月160円だったものを、来年度より100円以内で納めるように変更した。

#### 取り組みの効果

1. 有
  2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
- 具体的な効果—

- ・活動経費の見直しにより、経費の削減や今後の会費を下げることができ、保護者の負担を減らせることができた。

—反省点—

—改善案—

- ・来年度以降、事業計画に合った予算を考え、必要なものを各部長に聞くなどして、その都度吟味し、極力残金が出ないようにしていく。

## 令和4年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士川第一小学校 会長名 望月一輝

### 令和4年度重点活動の具体的な取り組み内容

〈PTA ふれあいフェスタ〉

PTAが主体となって行うイベント。コロナ禍ではありましたが毎年開催してまいりました。今年度はだいぶコロナも落ち着いていたため、児童・教員・PTA役員以外にCSの方やスポーツ少年団にも参加していただいた。CSには「昔の遊び」、スポ少には各団体の紹介・体験コーナーを設けて児童に体験してもらった。

今回は上の2つと共に、クイズ・ちりめんモンスター・絵本の読み聞かせを回りながら、スタンプを押してもらうような形のスタンプラリーを行った。

また、地元のお店にも協力いただき食品販売も昨年同様に行った。

### 取り組みの効果

1. **有** 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）  
—具体的な効果—

何といっても児童の楽しそうな笑顔が見られたこと。

コロナ禍での難しさもあったが、どんな状況下でも前向きに物事を考え、準備したことにより、周りから多くの協力が得られて、実行する事ができた。

「子どもたちの為」という気持ちだけが先走っていたが、コミュニケーションの重要性が改めて感じられ、それにより実行出来る事が証明できた。

### —反省点—

毎年の事ですが、食品・参加賞の注文数に余剰が出たり、食品が時間通りに届かなかったりというハプニングがあった。お店の方との当日の段取り不足が露呈してしまった。

食品配付に関しても、事前に注文を取っていたが、並べ方・動線など見直す所があった。

今年は昇降口にイベントの詳細マップを掲示したが、いまいち見てもらえなかったのでもう少し工夫が必要。事前に児童には配付しておいても良かったかもしれない。

### —改善案—

上記反省点の改善・工夫を行う。それと、ボランティアなどを募集して、準備の段階から細やかな計画を作っていくたい。

学校内だけでなく、中学校や地域の方々も参加できるイベントにしたい。

※PTAの公会計化に伴い、非会員がいた場合の「PTA会費の使い方」が今後の一番の課題になるような気がしている。

## 令和4年度 P T A活動最終報告

学校名 富士川第二小学校 会長名 石川 浩司

---

令和4年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ① 情報モラル講座の開催
- ② 「かけこみ110番の家」登録依頼
- ③ PTA機関紙「おぐるま」の作成
- ④ 小中合同講演会（笑う×ほめるコミュニケーション）
- ⑤ クリーン作戦（プールの清掃、新校舎の清掃）の実施
- ⑥ 登校時における交通指導
- ⑦ 6年生のコサージュ作り
- ⑧ 通学路注意看板のミラーへの設置

－具体的な効果－

- ① 情報モラル教育として、1～4年生保護者を対象にスマホに関するルールやSNSの危険性について講演をした。スマホとの付き合い方やSNSに写真をあげる危険性等を伝えることができた。事前アンケートをまとめ、保護者に配付することで、保護者の意識を高めることもできた。
- ② 「かけこみ110番の家」の登録件数を増やすことができた。地域の協力を得て、登下校中の安全を確保できた。
- ⑤ 奉仕活動により、普段できないプールの壁の清掃、新校舎の清掃と整備することができた。先生方と一緒にすることにより一体感が深まった。
- ⑥ 登校時における交通指導と見守りを行ったことで児童の安全が保たれた。
- ⑦ 最後の卒業式のために保護者の思いも深まった。

－反省点－

- ・ 情報モラル教室は全ての学年の保護者に伝えたいのでPTA総会などの機会を利用していく。
- ・ 注意喚起のミラー設置は急な事だったので、本部役員の負担が増してしまった。
- ・ 小中一貫校の初年度だったため、新しい行事は初めてだったので手伝い方など反省を今後に生かしていく。

－改善案－

- ・ 講演会やクリーン作戦は小中合同で行ったが、その他の各事業の改善点やよかった点などから見直しを行い、今後の活動につなげられるようにする。
- ・ 本年度から施設一体型の小中一貫校となり、一年かけてPTAも統合していく予定なので、小学部と中学部のPTA組織や活動内容を少しずつそろえていく。  
また、小中の打合わせができるようにPTA役員会の日時を合わせて実施する。